



小学生バドミントン通信

NO.16 2016.07

発行：日本小学生バドミントン連盟 会長 梶井勝人

悲願の初優勝

Dream.Jr監督 寺 柚 茂 和

今年の若葉カップは、Dream.Jr結成9年目悲願の初優勝で幕を閉じました。しかも31回を数える大会史上初とも言える予選リーグから決勝まで、1つも落とす事なく全てストレート勝ちの完全優勝でした。この優勝は部員約40名、コーチ、保護者そして過去悔しい思いをしてきたOB達全ての思いがこもった勝利でもありました。私自身も4年前にコーチに就任し度々悔しい思いをしてきましたし、特にここ3年間は、出場チームの中でも決して劣ることがない戦力にもかかわらず、3年前は東京の青梅ジュニア、2年前は神奈川のNP神奈川に2-3で敗れ準優勝、関東勢の強さをしみじみ痛感しました。そして去年は、香川スクールに2-3で敗れ3位でした。結果だけ見れば十分に強豪と言える成績でしたが、優勝には無縁でした。どうして勝てないのか？運がないのか、選手でもない、全て私自身のコーチングに原因があるのか？いろいろ悩み苦しみそして今大会を向かえました。

今年から監督に就任し、2つの覚悟を胸に会場に入りました。今年のチームは、6年生はシングルス、ダブルス共に全国トップクラスの選手がいましたが、若葉では重要な4年生、5年生に一抹の不安があるチーム力でした。去年香川スクールの吉川さんが運9割の勝利と言っておられましたが今大会も過去3年同様、組み合わせも比較的戦い易いチームとの対戦が続きました。予選リーグでは私の不安を打ち消す様に4、5年生の頑張りですべて5-0のストレート勝ち、この勢いで決勝まで3-0とチームの勝ちパターンである6年ダブルスまで回す事なく勝ち進みました。

一方反対側では、東京のたなしMAXジュニアが野口君兄弟、柳川君を中心に圧倒的な強さで準決勝ま

で勝ち進んでいました。うちの戦力と比べてもかなり厳しい状況でした。また関東に負けるのか？負けたら辞める!!1つ目の覚悟が脳裏をかすめました。しかし若葉特有の風が吹きました。神風です。対戦相手の高岡ジュニアが6年生の奥君の活躍で決勝に上がってきました。史上初の北信越対決、そして3度目の決勝戦、負けたくなかった。6年シングルスと4年シングルスで1つ取れば勝てる!!そんな思いでベンチに入りました。4年シングルの田中が今大会大活躍で勝利、5年ダブルスの長谷部・大田組も圧勝、そして6年シングルの竹澤の最後のショットが決まり歓喜の瞬間をベンチで見届ける事ができました。試合後コートで選手、コーチと握手抱擁、そして選手達に胴上げされた時間は何とも言えない喜びで胸がいっぱいでした。

選手1人1人胴上げしながら2つ目の覚悟、ベンチでは笑顔、笑顔、笑顔、ほめてほめてほめまくる事を徹底してよかった。去年までとは真逆の自分でした。また優勝したい!!強い思いで選手の笑顔を見つめていました。

最後に、来年も選手、コーチ、保護者との絆を更に深め、またこの会場で笑顔で、若葉カップを楽しみたいと思います。





平成27年度の大会記録



第31回若葉カップ全国小学生バドミントン大会

(主催：日本協会・日本小学生連盟・長岡京市)

平成27年7月31日～8月3日／京都府長岡京市・西山公園体育館

【男子の部】

- 優勝 Dream.Jr (福井県)・・・初優勝
- 2位 高岡ジュニア (富山県)
- 3位 小平ジュニア (東京都)
- たなしMAX Jr. (東京都)

【女子の部】

- 優勝 市原ジュニア (千葉県)・・・初優勝
- 2位 蓮田サウス (埼玉県)
- 3位 ミッキーズ (岡山県)
- たなしMAX Jr. (東京都)

創部30年の大快挙

市原ジュニアバドミントンクラブ
監督 小柳 博

3回目の出場でしたが19年振りに長岡京市西山公園体育館へ向かいました。過去の記憶を頼りに右も左も分からず戸惑い半分、勝負の気持ち半分での参加でした。結果それが何と過去最高の成績となりました。市原ジュニアバドミントンクラブ創部30周年の記念すべき年に「戦う女子8名」の頑張りにより若葉カップ初優勝。選手の活躍を目の当たりにし最高の喜びを味わうことが出来ました。

さて今大会を振り返っての最大の山場は、予選初戦の強豪岡垣ジュニア戦でした。先の倉敷ジュニアオープン大会で6年長嶋穂希が準決勝で川床選手に、4年三田地夏歩が予選で須藤選手相手に敗戦しており、全く実績の無いチームの宿命かなと組合せを見て少し落胆しました。コーチにデータ分析を依頼しての結論は6年生単と5年生単が勝負になると思えました。リベンジの心構えが出来て臨んだ6年単はファイナルゲームを制して堂々たる戦いの一勝。7月の関東オープンダブルス大会2位の力を発揮して5年複で林咲空・赤澤涼華が勝利し予想通り最後の5年単勝負となりましたが、遠藤桐が気合い充分の試合をして勝利を掴むことが出来ました。次の高岡ジュニアにも勝ち、暑い京都の観光を逃れて決勝トーナメント進出となりました。1回戦の大野ジュニア戦は午前中の練習成果を発揮し3対0で勝利。選手・コーチ・監督・父兄全員が「これで最終日まで残れる」と安堵感を抱くとともに翌朝の準備やこの後の夕食の心配をしながらホテルまで戻りました。いよいよ最終日、

私から選手へは「3位まで行こう!」と無欲な言葉をかけましたが、相反して選手は戦う気持ちがしっかり出来ておりKTジュニアに3対0で完全勝利。しかし次の対戦相手となる長岡京市スポ少対ミッキーズの激しい点の取り合いを見て、5年のオーダーを変えて準決勝に挑みました。見事期待に届いてくれミッキーズに3対2で薄氷を踏む勝利。3位で満足だったはずがまさかの決勝進出となりました。準決勝のもう片方は蓮田サウスとたなしMAXが激戦を繰り広げており、どちらのチームが来ても過去の戦績を考えると厳しいだろうと思いつつ決勝戦へ。蓮田サウスとの対戦になり6年単・5年複以外にあと1ポイントを誰が勝負してくれるかと考えておりましたが、京都での数日間のうちに1人1人が監督・コーチ陣の想像を超えた気持ちの強い選手に成長しており初の栄光を掴むことができました。終わりに市原市バドミントン協会のご支援、OB・OGや父兄そして小中の現役選手30名の総力により大きな成果を遂げられた事に心から感謝すると共に、また来年の“若葉カップ”にチャレンジしたいと思います。



第16回全国小学生ABCバドミントン大会

(主催：日本協会・日本小学生連盟・八代市)

平成27年8月14日～16日／熊本県八代市 八代市総合体育館ほか

【男子Aクラス(5・6年生)】

優勝 武井 凜生(東京都)
2位 後藤 拓人(宮城県)
3位 石田 悠斗(石川県)
佐藤 椎名(青森県)

【女子Aクラス(5・6年生)】

優勝 杉山 薫(茨城県)
2位 大澤 陽奈(東京都)
3位 小野 涼奈(群馬県)
倉島 美咲(埼玉県)

【男子Bクラス(3・4年生)】

優勝 沖本 優大(広島県)
2位 阿部 学斗(北海道)
3位 中村 勇耶(宮城県)
寺内 遥大(栃木県)

【女子Bクラス(3・4年生)】

優勝 石岡 空来(北海道)
2位 田口 真彩(宮城県)
3位 山北 奈緒(埼玉県)
遠藤 美羽(栃木県)

【男子Cクラス(1・2年生)】

優勝 澤田 修志(北海道)
2位 石井 叶夢(埼玉県)
3位 松井 優斗(福井県)
草ノ瀬悠生(鹿児島県)

【女子Cクラス(1・2年生)】

優勝 山本 優愛(愛知県)
2位 平田 涼(茨城県)
3位 山口 菜菜(石川県)
伊藤 康乃(埼玉県)



第24回全国小学生バドミントン選手権大会

(主催：日本協会・日本小学生連盟)

平成27年12月23日～27日／福岡県北九州市 北九州市総合体育館

【都道府県対抗団体戦：男子の部】

優勝 東京都 江面 孝紀・小原 輝・武井 凜生
(4回目) 野口 翔平・深井 俊椰・柳川 蓮
2位 石川県
3位 福岡県・宮城県
5位 福井県・青森県・埼玉県・熊本県

【都道府県対抗団体戦：女子の部】

優勝 茨城県 仁田麻登香・谷川 莉奈・古茂田優子
(初優勝) 石橋 結子・杉山 薫・後藤 咲々
2位 新潟県
3位 福岡県・東京都
5位 愛知県・香川県・神奈川県・栃木県



【6年生男子シングルス】

優勝 武井 凜生(東京都・青梅ジュニア)
2位 井上 翔太(福井県・みのりスポーツ)
3位 森口航士朗(熊本県・出水南ジュニア)
吉田 翼(北海道・北野平小学校)

【5年生男子ダブルス】

優勝 山腰悠太・石崎太一(福岡県・海老津ジュニア)
2位 相澤大智・矢田楓雅(新潟県・プログレス)
3位 鴻江翔伍・中山結斗(新潟県・佐渡ジュニア)
佐藤憲蔵・鴛海 健(東京都・宝木塚ジュニア)

【4年生以下女子シングルス】

優勝 山北 奈緒(埼玉県・鶴ヶ島 Angels)
2位 遠藤 美羽(栃木県・足利レジェンズ)
3位 曾雌 玲那(栃木県・プライドジュニア)
石岡 空来(北海道・SA東・羽倶楽部)

【5年生男子シングルス】

優勝 岩野 凜也(愛知県・西尾ジュニア)
2位 櫻井 煌介(栃木県・宇都宮ダッシング)
3位 斉藤 駿(新潟県・五泉バンビーノ)
平田 璃月(岡山県・永井BC)

【4年生以下男子ダブルス】

優勝 伊藤康太郎・中川友那(埼玉県・鶴ヶ島 Angels)
2位 野口駿平・柳川瑠生(東京都・たなしMAX Jr)
3位 田中一基・井上大馳(神奈川県・若草ジュニア)
安井陸斗・桑原朋也(滋賀県・Pana-J)

【6年生女子ダブルス】

優勝 久湊葉々・石田 萌(愛知県・はりあっぶジュニア)
2位 辻 結真・木山琉聖(東京都・TEAM ISHIBA JAPAN)
3位 赤松明依・須田有純(香川県・香川スクール)
石橋結子・古茂田優子(茨城県・成沢スポ少)

【4年生以下男子シングルス】

優勝 沖本 優大(広島県・原ジュニア)
2位 阿部 学斗(北海道・釧路ジュニア)
3位 川本 諒太(長崎県・矢上小クラブ)
荒井 輝(石川県・金沢崎浦Wings)

【6年生女子シングルス】

優勝 杉山 薫(茨城県・ハルトノ)
2位 大澤 陽奈(東京都・たなしMAX Jr)
3位 小野 涼奈(群馬県・強戸ジュニア)
梅田莉々子(愛知県・岡崎ジュニア)

【5年生女子ダブルス】

優勝 岩西真那・藤田美咲(東京都・Team clover)
2位 千北梨花子・今村 涼(福岡県・荘島クラブ)
3位 伊藤妃香瑠・岩井仁香(大阪府・D☆ARMY)
末井優里菜・吉延美咲(岡山県・ミッキーズ)

【6年生男子ダブルス】

優勝 野口翔平・小原 輝(東京都・たなしMAX Jr)
2位 中野文哉・南茂羽斗(福井県・勝山チャマッシュ)
3位 高嶋 遼・中谷 真(福井県・Dream Jr)
馬屋原光太郎・中嶋関太(鳥取県・Kamisクラブ)

【5年生女子シングルス】

優勝 吉川 天乃(岡山県・Nラインクラブ)
2位 志知夕里菜(岐阜県・大垣北少年団)
3位 後藤 咲々(茨城県・東少年)
石川 心菜(東京都・たなしMAX Jr)

【4年生以下女子ダブルス】

優勝 竹本千穂・堀 小雪(岡山県・ミッキーズ)
2位 村本果奈・松山陽香(長崎県・ひなときクラブ)
3位 藤井史穂・吉岡葉菜(大阪府・D☆ARMY)
篠村夕月・加藤葵生(富山県・上市ジュニア)



全国小学生バドミントン選手権

6年男子シングルス優勝

東京都 青梅ジュニア 武井 凜生



ぼくは小学生最後の全国大会で優勝し、3連覇を達成できたので、とてもうれしかったです。

ぼくがバドミントンを始めたのは5歳の時でした。兄が練習しているのを見て、とてもおもしろそうだったので、青梅ジュニアバドミントンクラブに入りました。最初は楽しいという気持ちだけでやっていたので、夢は大

工さんになって家をたくさん建てることでした。でも2年生の夏に出場したABC大会で夢が変わりました。その大会で、ぼくは自分のミスの多さと心の弱さで負けてしまいました。とても悔しくて、大泣きました。その時から、ぼくはバドミントンのことを真剣に考えるようになりました。

ぼくは小学生の間、雨の日以外は毎朝走ったりなわとびをしたし、家では自主トレーニングをしてきました。人と同じ練習では人と同じくらいしか上手くなれないと思い、人よりもたくさん練習してきたつもりです。

3年生で出場した若葉カップでは、4年シングルスに出ました。負けそうになった時も、全力でシャトルを追いかけました。仲間と一緒に戦って、仲間と一緒に勝つ喜びを学びました。優勝した時はとてもうれしかったし、次は個人戦で優勝したいと思いました。4年生のABC大会では負けてしまいましたが、その冬の全小では、負けた相手をおして優勝することができました。初めて全国大会の個人戦で優勝できてうれしかったですが、その時6年生の優勝者が持っている大きなカップを見て、あれがほしいなと思いました。5年生の全小も優勝しましたが、まだまだできないことがたくさんあり課題は山積みで、優勝した喜びよりも、これからもっと練習がんばらなきゃという気持ちになりました。それから1年間、3連覇を目指して一生懸命がんばりました。監督とコーチも一緒に3連覇に向かって指導してくれました。その結果、技術が身に付き、それが自信につながりました。そして目標だった3連覇を達成できました。

ぼくは4年生から関東アスリートアカデミーの選手に選ばれました。最初は上級生にまじっての練習が辛すぎて、泣きながらついていくこともありました。また、4年生の全小で優勝したことで、U13のメンバーに選ばれました。ここでは2年間、強化合宿や海外遠征に参加させてもらいました。これらに参加することでさらに技術も体力もつき、あいさつやマナーなどの礼儀も学びました。

8年間ぼくを指導してくれた松村監督とコーチの方々、応援してくれた仲間たちと支えてくれた家族、たくさんの人のおかげで今の自分があることを忘れずに、これからもがんばっていきます。そして今の夢は、オリンピックに出場し、金メダルを取ることです。

6年女子シングルス優勝

茨城県 ハルトノクラブ 杉山 薫



「3連覇」のかかった6年生最後の「全国小学生バドミントン選手権大会」で優勝し、念願の文部科学大臣杯を手にすることができて、本当に嬉しいです。

兄がハルトノクラブに入っていたことから当たり前のように始めたバドミントン。

私にとって初めての全国大会は2年生の「全国小学生ABC大会」。大きな舞台で予想もせずCクラスで初優勝！歴代チャンピオン達の名前が刻まれた優勝カップと「日の丸」入りの金メダルがもらえて本当にビックリ！以降全国のトップ選手達を意識し、次も勝てるように、一生懸命練習するようになりました。

4年生のBクラス、6年生のAクラス、プレッシャーもありましたが、「全クラス制覇」できたのは、最後まで諦めず強い気持ちで戦うことができたからだと思います。

私にとって「全国小学生バドミントン選手権大会3連覇」には特別な思いがありました。

1年生の時、兄の試合の応援で連れて行ってもらった松山での全小は、同じ茨城県の仁平菜月選手の「女子シングルス三連覇」、のかかった大会。私は準々決勝、準決勝と厳しいファイナルゲームを逆転で優勝した試合を食い入るように見ていました。表彰式で大きな優勝カップを手にした仁平さんが「憧れの選手」となったのはもちろんのこと、いつからか「全小3連覇」が私の目標となっていました。

4年・5年と全小で優勝してからは「3連覇」への周囲の期待も大きくなり、正直プレッシャーに負けそうになる時もありましたが、自分を一生懸命育ててくれた、たくさんのコーチや応援してくれた仲間達のことを思い出し、勇気もらって最後まで自信を持って戦い抜くことができました。

昨年は決勝で敗れ悔し涙を流した都道府県対抗団体戦も、今年は仲間達と一緒に笑顔で優勝旗を手にする事ができ、最高に嬉しい大会となりました。

私がかここまで頑張れたのは、たくさんのみんなのささえがあったからです。本当にありがとうございました。いつの日か恩返しができるよう、「オリンピックメダリスト」を目指し、これからも精一杯頑張ります！



2015年日本小学生バドミントン連盟 強化部の事業報告

第21回ウォンチョンカップ2016に参加して

日本小学生バドミントン連盟

強化部 大堀 麻紀

1 試合経過と戦評

大会前半23日～25日は個人戦が行われた。

男子シングルスは、武井選手が準決勝に進出し積極的に仕掛けるゲームを展開したが、もう一歩波に乗ることができず敗退、3位という結果で終わった。井上選手は相手の早い展開についていくことができず、自らの得意とする攻撃力を発揮するに至らずベスト8止まり。

女子シングルスは、大澤選手が全試合を通して攻守にまともがあり、攻撃的なプレーで圧倒的な優勝を果たした。特にレシーブの安定感が増したことが勝因といえる。杉山選手は、クレバーなプレーで準々決勝まで進んだもののクリアーで押されリズムを掴めないまま敗退してしまっ

た。男子ダブルスは、野口・小原組が準決勝・決勝ともファイナルの接戦となり、攻め込まれ幾度となくピンチを迎えたが、攻撃的レシーブと力強いドライブで反撃し見事な優勝を飾った。森口・吉田組は、サーブ周りでのミスや、受け身のラリーが多く2回戦敗退。

女子ダブルスは、久湊・石田組がシンプルでスピード感のあるドライブ戦を制して決勝に進出したものの、決勝ではつなぎにいったドライブをことごとく詰められ引いてしまう場面が多く惜しくも準優勝。梅田・小野組はシングルス的なカットやネットプレーが多く、そこを突かれて持ち味を発揮できぬまま2回戦敗退となった。

個人戦終了後～27日にかけて行われた団体戦は、前回大会まで2複3単であったが、開催国(韓国)ジュニア層のシングルス強化を目的として今大会から5単に変更となった。

男子団体は、順調に準決勝まで勝ち上がり釜山選抜との戦い、1-2と王手をかけられて苦しい展開となったが、コートに立つ選手・サポートする選手が一体となり逆転勝

利を取めた。勢いに乗り迎えた決勝では、フィジカル・パワー・テクニクとも相手を大きく上回り、圧倒的な展開で優勝を果たした。

女子団体は、全体を通じてパワーでは若干劣っていたかもしれないが、スピード・アジリティー・テクニク等で優位に立っていた。また選手たちがお互い声を掛け合い、終始明るい雰囲気の中で戦うことができた。決勝でのみ1ポイントを落としたものの、その他は危なげない展開で優勝を果たした。

今回、団体決勝の様子が韓国のテレビで生中継された。メディアに囲まれ独特な雰囲気の中でのゲームということもあり、かなり緊張した面持ちの選手もいたようであるが、この環境下で勝利できたことは必ずや選手たちの大きな自信になるものと確信する。

2 競技の総評と反省

今大会を振り返り、全体的にフィジカルやスタミナはほぼ互角であり、スピード・アジリティー・テクニクといった部分では日本選手が上回っていたと思う。若干、劣勢になった場面での間の取り方などの課題を残すが、年齢・経験とともに徐々に身についてくる要素であり、次なるステージで克服すべき課題であると考え

る。最後にプレースタイルを見てみると、韓国の選手たちは自国のスタイルが確立されているのに対し、日本の選手にはいい意味での個性がある。他国出身で日本のコーチとして活躍されている方たち(韓国・インドネシア等)の力も借りながら、今後個々に応じたスタイルでの強化を更に目指していくことが重要だと思





平成27年度の専門部事業

■ 選手強化部

1) 平成27年度日本小学生バドミントン連盟 強化合宿・海外遠征

- ① 平成27年度第3回U-13選抜強化合宿
…………… 8月3日～6日／京都府亀岡市 亀岡運動公園体育館(京都府亀岡市)
- ② 第14回日小連強化合宿…………… 8月16日～19日／熊本県八代市 八代市総合体育館
- ③ ウォンチョンカップ2016…………… 2月22日～28日／韓国・大田広域市

2) 平成27年度日本小学生バドミントン連盟ブロック普及事業(補助金交付)

3) 平成27年度日本協会 選手強化本部事業

- ① 2015年ジュニアナショナルU-13強化指定選手 強化合宿(U-16と女子選手合同)…………… 5月7日～13日／NTC
- ② 2015年ジュニアナショナルU-13強化指定選手 強化合宿(U-16と男子選手合同)…………… 6月16日～22日／NTC
- ③ 2015年ジュニアナショナルU-13強化指定選手 強化合宿…………… 9月13日～17日／NTC
- ④ 韓国ジュニアオープン2015 直前合宿…………… 11月19日～21日／NTC
- ⑤ 韓国ジュニアオープン2015…………… 11月21日～30日／韓国・光州広域市
- ⑥ 2016年ジュニアナショナルU-13 選考合宿…………… 2月3日～6日／NTC

■ 指導育成部

1) 指導者講習会《巡回指導》の開催(ヨネックス協賛事業)

- ① 5月23日 千葉県小学生バドミントン連盟(千葉市千葉公園体育館)
- ② 7月11日 広島県小学生バドミントン連盟(広島市安佐南区スポーツセンター)
- ③ 7月26日 新潟県小学生バドミントン連盟(阿賀野市ささかみ体育館)
- ④ 9月26日 長崎県小学生バドミントン連盟(長崎市長崎東公園コミュニティセンター体育館)
- ⑤ 9月27日 佐賀県バドミントン協会小学生専門部(武雄市白岩体育館)
- ⑥ 11月1日 三重県小学生バドミントン連盟(津市誠之小学校体育館)
- ⑦ 11月7日 徳島県小学生バドミントン連盟(徳島市立スポーツセンター)
- ⑧ 11月7日 高知県小学生バドミントン連盟(南国市三和スポーツ交流センター)
- ⑨ 11月14・15日 北海道小学生バドミントン連盟(深川市総合体育館)
- ⑩ 11月23日 富山県小学生バドミントン連盟(射水市新湊アイシン軽金属スポーツセンター)
- ⑪ 1月10日 岐阜県小学生バドミントン連盟(笠松町総合体育館)
- ⑫ 1月23日 栃木県小学生バドミントン連盟(宇都宮市上河内体育館)
- ⑬ 2月11日 茨城県小学生バドミントン連盟(土浦市霞ヶ浦文化体育会館)
- ⑭ 2月20日 山梨県小学生バドミントン連盟(甲府市立甲府商業高校体育館)

■ 医科学研究部

1) スポーツ医科学講義の実施

指導育成部の実施する指導者講習会(巡回指導)とタイアップした形で平成27年度は7回の講義を実施した。

- ① 6月14日 島根県バドミントンジュニア連盟講習会 担当 北山吉明(医師)
- ② 7月11日 広島県小学生バドミントン連盟講習会 担当 置塩良政(医師)
- ③ 9月20日 愛知県小学生バドミントン連盟講習会 担当 北山吉明(医師)
- ④ 11月1日 三重県小学生バドミントン連盟講習会 担当 北山吉明(医師)
- ⑤ 11月15日 北海道小学生バドミントン連盟講習会 担当 坂東陽月(歯科医師)
- ⑥ 12月12日 広島県小学生バドミントン連盟講習会 担当 北山吉明(医師)
- ⑦ 2月11日 茨城県小学生バドミントン連盟講習会 担当 北山吉明(医師)

2) スポーツ歯科研究

「小学生バドミントン選手の咬合機能とパフォーマンス」 担当：坂東陽月(歯科医)
第24回全国小学生バドミントン選手権大会にて測定 平成27年12月23～27日 福岡県北九州市

3) 小学生スポーツ障害110番

今年度相談なし



平成28年度の事業計画

5月28日、味の素ナショナルトレーニングセンターにおいて開催された定期総会において平成28年度の事業計画及び予算が承認されました。総会には会長をはじめとする理事・都道府県代議員あわせて44名が出席しました。

■ 主催大会の開催

- 1) 第32回若葉カップ全国小学生バドミントン大会(京都府長岡京市) ……7月29日～8月1日
- 2) 第17回全国小学生ABCバドミントン大会(埼玉県久喜市・幸手市) ……8月15日～17日
- 3) 第25回全国小学生バドミントン選手権大会(滋賀県大津市・守山市) ……12月23日～27日

【29年度大会開催予定】「第33回若葉カップ」京都府長岡京市 「第18回ABC大会」熊本県八代市
「第26回全小大会」広島県広島市

■ 選手強化部

- 1) 平成28年度日本小学生バドミントン連盟強化合宿

- ① 第4回U-13選抜強化合宿(日バと共催) ……8月1日～4日/西山公園体育館(京都府長岡京市)
- ② 第15回選抜強化合宿 ……8月17日～20日/ナショナルトレーニングセンター(東京都北区)
- ③ 海外遠征 ……未定
- ④ ブロック普及事業(強化合宿等)への補助金交付 ……普及事業は各ブロックで計画・実施
各ブロック連盟が実施する合宿などの普及・強化事業に対して日本小学生バドミントン連盟が補助金を交付するもので、平成19年度から始まった事業です。補助金は選手個人登録者数に応じて決定しています。平成20年度から賛助金の50%を上乗せし、基準単価は平成26年度に改定しています。

- 2) 平成28年度日本協会 選手強化本部ジュニア強化部事業(予定)

- | | | |
|--------------------------|-----------|-----|
| ① ジュニアナショナルチーム(U-13)強化合宿 | 4月24日～29日 | NTC |
| (U-13)強化合宿 | 9月21日～25日 | NTC |
| (U-13)選考合宿 | 2月1日～4日 | NTC |
| ② 台湾小学生交流競技会 | | 未定 |
| ③ 韓国ジュニアオープン | 直前合宿 | 未定 |
| | 競技会 | 未定 |

■ 指導育成部

- 1) 指導者講習会《巡回指導》の開催(ヨネックス協賛事業)
平成28年度の開催は15～20ヵ所を予定

■ 医科学研究部

- 1) スポーツ医科学普及指導活動

- ① 指導普及部と協力して、全国都道府県の指導者および保護者に対して巡回指導(実技及び講義)を実施する。
- ② 本年度実施回数は6回を予定している。
- ③ 講義内容は医科学全般を対象とするが、希望のあった項目を優先する。内容としてはスポーツ医学、スポーツ障害学、栄養学、バイオメカニクス、トレーニング理論と実際、スポーツ歯科、スポーツと脳、メンタルトレーニング、トレーナーによるコンディショニング、などである。
- ④ 依頼を頂いた都道府県に出向し、指導する。

- 2) 医科学研究活動

スポーツ歯科研究を今年度も継続して実施する。

発育期にあるジュニアバドミントン選手の口腔内調査を通して、スポーツ活動に必要な歯科的問題を掘り起こし、より高いパフォーマンスにつながる、歯のメンテナンスなどについて研究する。咬合力とスポーツ能力の関連についてさらに研究を進める。

- 3) 小学生のスポーツ障害110番の開設

日本小学生バドミントン連盟に所属する小学生の指導者で、対処に困っているスポーツ障害やその他、発育や食事等の医科学的疑問について、下記のメールアドレスに質問をいただければ、医科学研究部員が回答を返信します。

メールアドレス: sp7e26q9@rice.ocn.ne.jp 医科学研究部 北山 吉明

- 4) バドミントン教本、ジュニア編(『財』日本バドミントン協会編)の改訂版出版

2004年に発刊された上記教本は、12年を経過した現在、新しい医科学的新知見も沢山出現したこと、一部内容が古くなったこと、などに鑑み、改訂版の出版が必要と考えた。教本の出版は平成28年12月の全国小学生バドミントン選手権大会に間に合うよう計画している。

■ その他

- 1) 広報活動

- ① 賛助会会報『小学生バドミントン通信 第16号』の発行
- ② インターネット 公式サイトでの管理運営

平成27年度の賛助会員としてご協力をいただいた皆さんです。

皆さんからいただいた賛助金は、日本小学生連盟の運営や各ブロックで実施する普及・強化事業への補助などに使わせていただきます。

(敬称略)

【北海道】田仁バドクラブ/苫小ジュニア/旭川嵐山少年団/旭川東光小少年団/清水新得ジュニア/帯広豊成JBC/芽室町少年団/帯広栄少年団/帯広ジュニア/北栄JBC/札幌大同ジュニア/西ジュニア/札幌北ジュニア/北見市少年団/豊住少年団/斜里JBC/網走少年団/生田原クラブ/紋別少年団/南空知協会/岩見沢JUNIOR/笠井正彰/小場範夫/日比野正人/能谷敏夫/下野和義 【青森県】青森県小学生連盟(3口) 【山形県】山形県小学生連盟(10口) /遠藤宏一 【埼玉県】シャトラーズスポ少/能登則夫(1万円) /イーストフレンドスポ少/所沢ジュニア/出羽ジュニアクラブ/上尾ジュニアクラブ/蓮田サウスシャトラーズ/志木ジュニアクラブ/大内義光/行田/春日部白翔 【千葉県】千葉県小学生連盟(3口) 【東京都】上田敏之/増田英男(1万円) 【神奈川県】大清水スポ少/神奈川県小学生連盟(5口) 【富山県】高岡ジュニアクラブ/堀川南ジュニアクラブ(2口) /鷹野少年団/横田ジュニア 【石川県】OK Jrクラブ/松田新二郎(1万円) /北山吉明(1万円) 【静岡県】富士山クラブ/御殿場ジュニア/SBCスクール(3口) /富士中央クラブ 【愛知県】はりーあっぷジュニア(7口) /中口直人(5口) /石ヶ瀬スポ少/ウィスタリアジュニアクラブ(2口) /師勝ジュニアクラブ(3口) /愛知県小学生連盟/永井与志夫(1万円) /日清ジュニアクラブ/吉田恵之(3口) /くすの木少年団/犬山ドリームズスポ少/大野スポ少/田安武男(2口) /名古屋スポ少/長久手ジュニア/羽っ子CLUB / T-Jump Jr /盛田幸子/愛知県協会(3口) /みかクラブ 【三重県】高橋克彦/有絹スポ少/笹川ジュニアスポ少/森下さと子/誠之スポ少/三重県協会小学生連盟/下倉輝夫/高茶屋スポ少/梅本洋平/小俣町スポ少(2口) /南ヶ丘スポ少/磯部スポ少/川越町スポ少/明生 Jr 【岐阜県】尾藤宏治(5口) /大垣静里少年団/尾藤英邦(3口) /三浦公雄(3口) /尾藤伸治(3口) /大野ジュニアスポ少/リバースクラブ/岐南クラブ/大垣北BSS(3口) /池田SSC/神戸町少年団/大垣東スポ少/羽島市スポ少(3口) /大垣中川少年団/高山ジュニアクラブ/大垣安井BBS/垂井JSC / Kojima BC(5口) /びとう会/渡邊美知成(2口) /福永正弘(1万円) /高井政己 【京都府】坪内正一(2口) /小泉和子/川本末夫/小国俊之(5口) /大前茂(2口) /立野誠次/石井保祐 【大阪府】大阪府小学生連盟(2口) 【兵庫県】兵庫県小学生連盟(2口) 【奈良県】葛城市スポ少 【和歌山県】和歌山県小学生連盟(2万円) 【山口県】柳井JBC 【香川県】香川スクール/中央スポ少/綾川スピリッツJBC/三豊ジュニア少年団/白鳥ジュニアスポ少/飯野スポ少/庵治フレッシュ Jrクラブ/中部ジュニアクラブスポ少/木太南スポ少/志度ジュニアクラブ/三本松ジュニアクラブ/国分寺スポ少/弦打スポ少/内海スポ少/日新B S&T/東純子 【徳島県】藍住エンジェルススポ少/内町ジュニアクラブ/助任ジュニアクラブ/小松島ジュニア/林崎ジュニアクラブ/北島Bambiクラブ/福島ラビッツクラブ/相生B.C /加茂名ジュニアクラブ/八万ジュニアスクール/上坂 Jr.クラブ/穴喰ジュニア/穴吹HAPPINESS 【愛媛県】愛媛県小学生連盟/黒光律子/B&Gスクール 【福岡県】福岡県小学生連盟(2口) 【佐賀県】佐賀県協会小学生専門部(4口) 【熊本県】熊本県協会小学生部会(3口) 【大分県】大分県小学生連盟(3口) (合計160件:251口)

※平成28年度も引き続き「賛助会員(1口3,000円)」を募集しています。賛助会の申込み及び会費の振込みは下記へお願いします。

【新規の場合「申込書」送付先】 〒503-0982 岐阜県大垣市久徳町339 福永正弘 宛

【会費の振込先】 継続・新規とも下記の口座へお願いします。

郵便振替口座 「00870-3-88151 日本小学生バドミントン連盟」

- * 通信欄にクラブ名・代表者名あるいは個人氏名をご記入ください。
- * 赤色の振込用紙にご記入の上、できるだけ郵便局の振込機械をご利用ください。

日本小学生バドミントン連盟 平成28年度役員 (平成28年5月28日現在)

会 長: 梶井勝人

副 会 長: 北山吉明 尾藤宏治

理 事 長: 能登則男

副理事長: 小国俊之 松田新二郎 中口直人

常任理事: 白浜義次 上田敏之 吉川和孝

遠藤宏一(東北) 稲津 悟(九州)

理 事

(北海道) 熊谷敏夫 (関 東) 佐倉和明

(北信越) 伊藤 薫 (東 海) 永井与志夫

(近 畿) 松村宏則 (四 国) 藤本 伸

(中 国) 山下新一 (若 葉) 三古 剛

(会 計) 福永正弘 (事務局) 下野和義



日本小学生バドミントン連盟 事務局

〒068-0025 北海道岩見沢市5条西13丁目20番地 下野和義 気付

TEL: 0126-25-0089 FAX: 0126-25-4710

http://www.syoubad.jp E-mail: shimono@syoubad.jp